

がくふ よ かた 楽譜の読み方1

がくふ たくさんじょうほうか
楽譜には沢山の情報が書かれています。

かくきごう なまえ いみ おぼ きょく えんそう まえ じゅうよう
各記号の名前と意味を覚えることが曲を演奏する前に重要です。

がくふ せつめいようしょうひん 市川亮平
おんきごう ト音記号 ひょうしきごう 拍子記号(※拍子参照) きょく↑なまえ 曲の名前 3 きょく↑ひとつ 曲をつくった人

ごせんふ 五線譜

○のところは赤いソをあらわす

しょうせつ おんぶ 小節 音符がはいる部屋

しょうせつばんごう 3 ←小節番号 ひだりゆびばんごう 左指番号 しょうせつせん ↓小節線

↑おんぶ 音符 か書かれる位置で高さをかたちなが形で長さをあらわす

みぎゆびきごう i ←右指記号

しゅうしせん 終止線 きょく 曲のおわりをあらわす

がくふ よ じゅんばん ひょうしさんしょう (※拍子参照)

いっぱく 1拍 にはく 2拍 さんぱく 3拍 よんぱく 4拍 1拍 2拍 3拍 4拍

やじるし しめ じゅんよ 矢印の示す順に読んでいく

3 1拍 2拍 3拍 4拍 1拍 2拍 3拍 4拍

がくふ こと なが おんぶ か
この楽譜には3つの異なる長さの音符が書かれています。

がくふ しぶおんぶ いっぱく たんい よ かぞ
この楽譜は4分音符を1拍という単位で呼び、1拍,2拍,3拍,4拍と数えていきます。

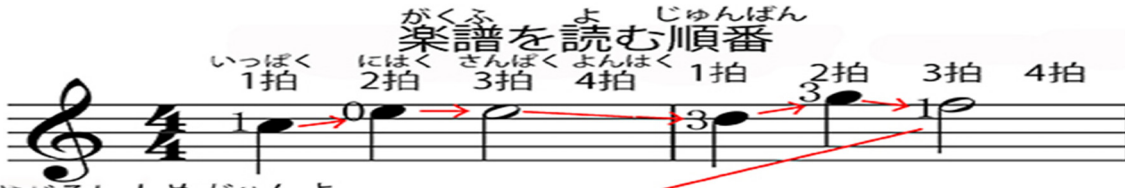
ぜんおんぶ 全音符 しぶおんぶ ぶん 4分音符4つ分
にぶおんぶ ぶん 2分音符2つ分
おとの音を伸ばす

にぶおんぶ 2分音符 ぜんおんぶ はんぶん 全音符の半分
しぶおんぶ ぶん 4分音符2つ分
おとの音を伸ばす

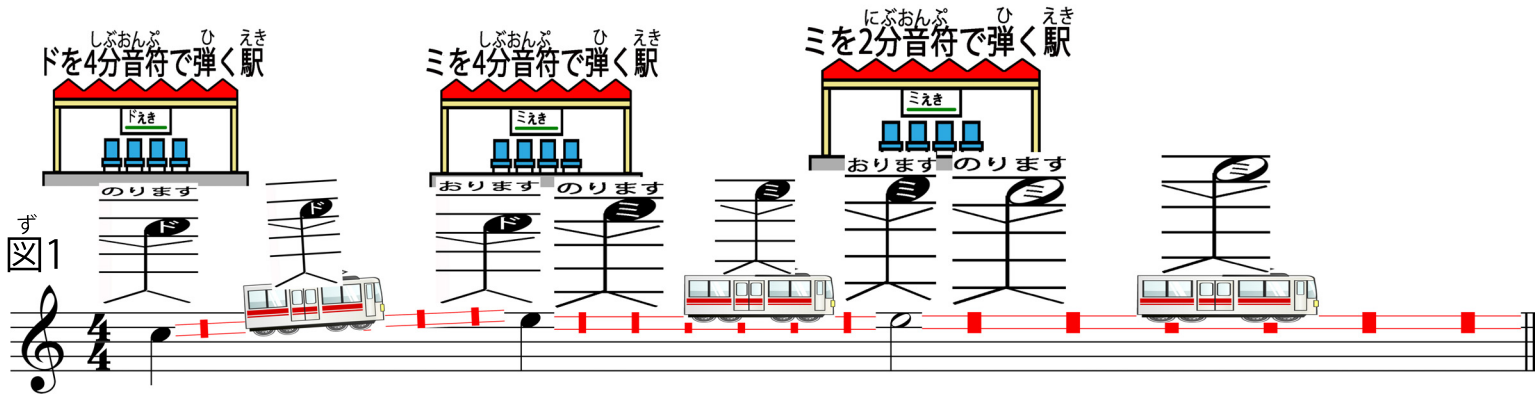
しぶおんぶ 4分音符 にぶおんぶ はんぶん 2分音符の半分
ぜんおんぶ はんぶん はんぶん 全音符の半分の半分
おとの音を伸ばす

楽譜の読み方2

しりょう がくふ よ かた おんぷ よ じゅんばんやじるし
資料「楽譜の読み方1」で音符を読む順番に矢印をつけました。



この矢印を電車の線路、音符の書いてあるところを駅だと思ってください。(図1)
楽譜の1つ目の音は「4分音符のド」です。これは4分音符のドというお客さんを乗せる駅です。
この乗客「ド」は次の「ミを4分音符で弾く駅」まで電車に乗ります。
「ミを4分音符で弾く駅」で乗客「ド」は電車を降りて、今度は「4分音符のミ」が電車に乗り
次の「ミを2分音符で弾く駅」に向かいます。「ミを2分音符で弾く駅」で乗客「4分音符のミ」は降り
乗客「2分音符のミ」が電車に乗ります。



楽譜とはこのように音符・休符を駅から駅まで運ぶ電車の動きを表していると思ってください。
電車に乗る人は駅以外で降りることはできません。それと同じように図1の音符達も途中下車はできません。
乗客「ド」が「ミを4分音符で弾く駅」まで降りられないということは
「ミ駅」までドの音が鳴っていないといけません。
「ド」は左指で弦を押さえて鳴らす音ですので、「ミ駅」までドを押さえている指を離してはいけません。
次の「ミ」は「ミを2分音符で弾く駅」まで鳴らしますが、これは1弦の開放弦ですので、
弦に触らないよう注意していれば、音は消えず次の「ミ駅」まで行けます。
きちんと次の音符という駅に音が着けるよう、音を鳴らし続けるということに気を付けてください。

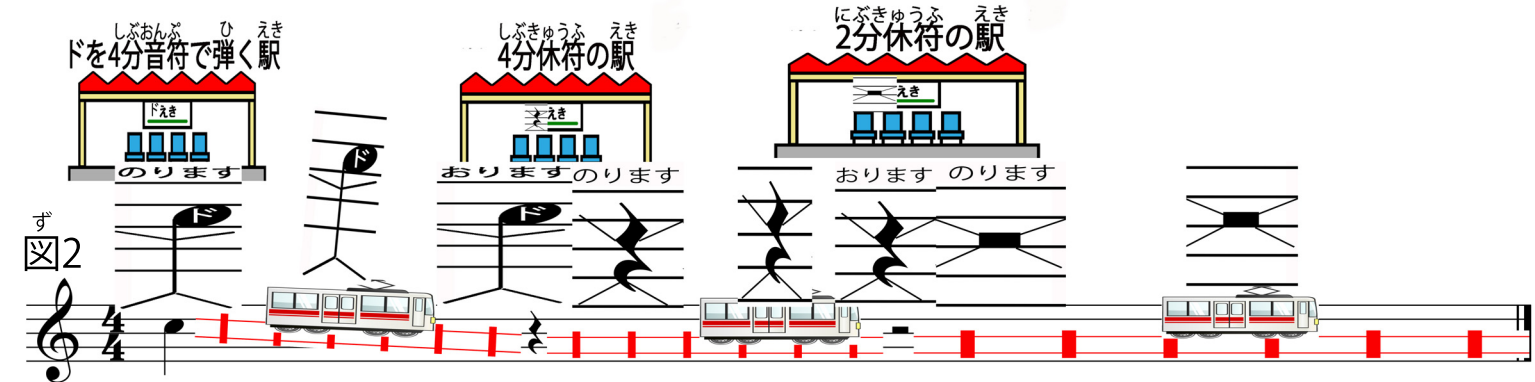


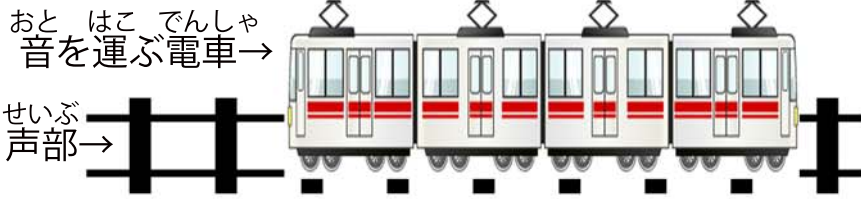
図2は4分休符と2分休符が書かれています。
休符とは「音がなっていない状態を表す音符」です。
音符と同じようにしっかりと次の駅までしっかり電車で運んであげてください。
電車イラスト <https://illustimage.com/matome/?id=84> 様 駅イラスト <https://senrotukute.jimdo.com/> 様

クラシックギターの演奏のための声部の勉強

電車イラスト <https://illustimage.com/matome/?id=84> 様 駅イラスト <https://senrotukute.jimdo.com/> 様

小さなお子様も対象に含めて、簡単な声部の説明を致します。
 噛み砕いてお伝えするので不十分なところもあるかもしれませんが。
 もしきちんと学びたい方はお知らせ下さい。

声部とは音符・休符という人に乗せて走る電車の線路だと考えてみてください。

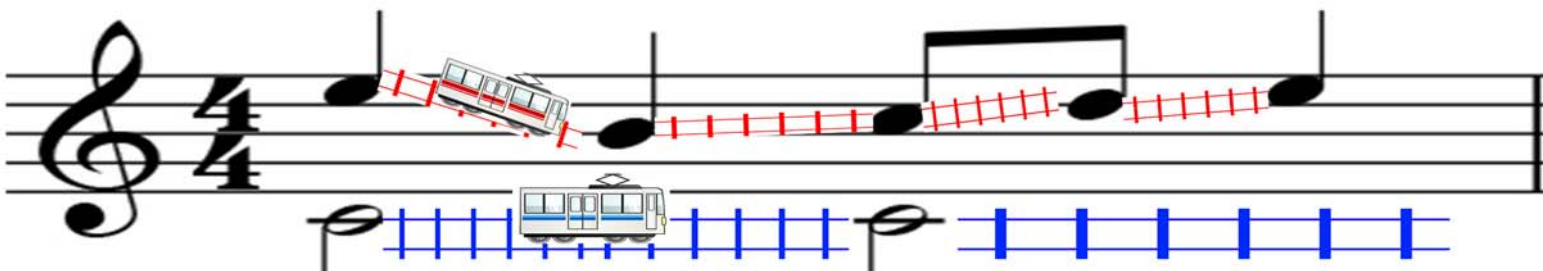
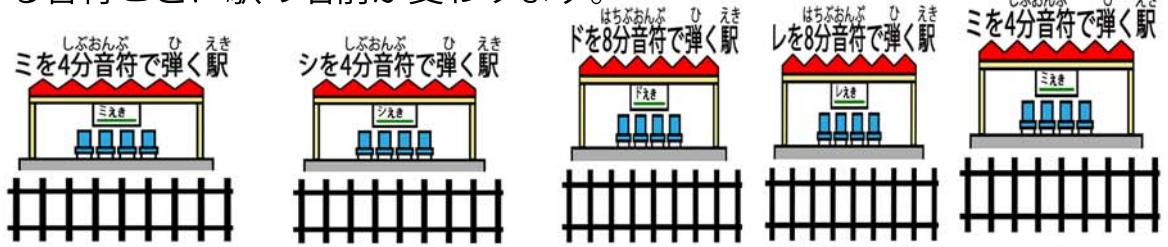


線路は の様に別れたり2本が1本に重なったりすることもあります。

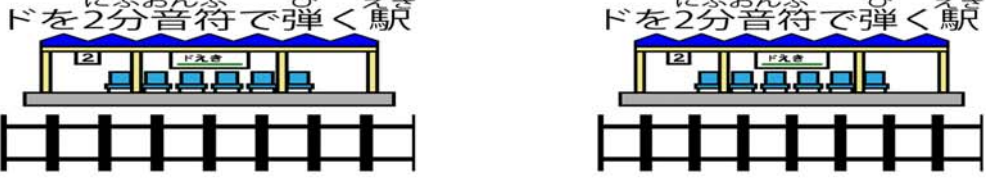
普通は の様に電車の種類ごとに別々にならんでいて、その上を電車が走ります。

見えませんが、楽譜にもそのような線路があり、その上を音が進んでいきます。
 楽譜1は次に練習する曲の一部です。上の音符が 下の音符が に乗って、

それぞれ別の線路を進んでいきます。
 音符が書いてあるところは駅です。ミを4分音符で弾く駅、シを4分音符で弾く駅・・・と
 楽譜に並んでいる音符ごとに駅の名前が変わります。



次の駅までドを鳴らさなければいけない
 ↓ ゆび はな
 ドをおさえている指を離してはいけない



青い駅と赤い駅の場所は曲によって異なります。難しくなると緑の駅などもでてきます。
 まずは2つの声部を弾き分けることを目指しましょう。